

全国大会3度目の優勝  
そして世界の壇上へ



1「第18回全国高校生英語ディベート大会in栃木」にて2全国大会でのディベート  
3「Prague Debate Spring 2024」会場のチェコ、プラハにて4国際大会でのディベート

宇都宮高等学校 英語部 3年  
 佐々木 舜さん 金枝 央賀さん  
 佐々木 絢矢さん 長谷川 龍太郎さん  
 小林 大輝さん 笠松 亮人さん  
 仲山 灯さん

プロフィール

全国高校英語ディベート連盟が主催し、64校が参加した「第18回全国高校生英語ディベート大会in栃木」で優勝し、国際大会「Prague Debate Spring 2024」に出場。

昨年12月、全国高校英語ディベート連盟が主催し、64校がしのぎを削った「第18回全国高校生英語ディベート大会in栃木」。

作新学院大学で行われたこの大会で、宇都宮高等学校英語部が、4年ぶり3度目の全国大会優勝に輝き、強豪校としての意地を見せつけました。

大会は2日間にわたり行われ、6試合行われた予選を5勝して4位で通過し、本選へと駒を進めました。トーナメント方式となる本選では、準決勝を順当に勝ち上がり、決勝では、予選で敗れた相手に見事雪辱を果たし、栄冠を手に入れました。

ディベートのテーマは、予選、決勝ともに「日本政府は、代理出産を合法化すべきである。是か非か」。部長の佐々木舜さんは、大会や日ごろの練習について「テーマは事前に公開されていたため、入念に準備を重ねていた。練習は放課後に毎日2・3時間程度、時には、土・日曜日に練習することもあった」と振り返ります。

ディベートの試合はチーム制で行われ、相対する2チームが直前に賛成側と反対側に振り分けられ、一人ひとりの持ち時間の中で、両

チームのメンバーが交互に意見を述べ合うターン制で行われます。

英語部顧問の吉田砂絵子教諭は「大会ではテーマへの理解度や論理の一貫性などが問われるため、生徒たちには、自分の意見を分かりやすく伝える力を付けることができるよう、普段の練習から声を掛けています。彼らの練習量は全国でもトップクラスではないか」と強さの秘訣について語ります。

全国大会での優勝により、今年7月に行われ、35カ国のチームが参加した国際大会「Prague Debate Spring 2024」にも英語部として出場を果たしましたが、惜しくも予選を突破することはできませんでした。悔しい結果でしたが、メンバーの佐々木絢矢さんは「実際に海外に行ってみるべきことが体験でき、視野が広がった。今後自分たちが卒業し、大学進学後や社会人になってからも、またこのメンバーで集まってディベートしたい」と前向きに話します。

日本を飛び出し、世界への扉を開いた宇都宮高等学校英語部の皆さん。メンバー同士で培ったローカルな絆を胸に、グローバルな視点で世界を見据えます。



# みんなの広場



まちの魅力がいっぱい!

宇都宮市公式LINE / ライトライン  
「教えてミヤリー」 × 開業1周年記念

## 「市民フォト」特別企画

ライトライン開業1周年を記念して、市民フォトコーナーでコラボ企画を実施しています。10月号では、9月12日までにご応募いただいた写真の中から、抽選で選ばれた15枚をご紹介します。掲載された人には、後日、ライトライン開業1周年記念グッズを送付します。

問 広報広聴課 ☎ (632) 2028



猛暑も何のその☆  
くうこめ



開業翌日初乗車  
ZERO



初めての公共交通はライトライン  
カイカイ



ライトライン  
空



はあばと乗ったLRT緊張  
Okel



ライトラインと一緒に。  
ちつくん



夜の顔♡ライトライン  
ひさこの子



はじめまして、きいろでんしゃ  
まろん



じいじが作った僕だけのLRT  
しんたろう



初めて撮ったLRT  
あーたん



あっ!  
なお



念願のライトライン!  
れいちゃん



寝ていません。起きています!  
いっちゃん



ぼくとパパのなつやすみ  
うきょう



初めての冬  
masaya

市民の皆さんの撮影した写真を募集します

詳しくは、市印をご覧ください。

1035537

▲市印



素敵な写真のご応募ありがとうございました!  
今回掲載されなかったものは来月号以降にご紹介します。

